

避難訓練計画からみる学校安全に関する分析

岩永, 裕次
九州大学大学院人間環境学府 : 修士課程

木村, 栞太
九州大学大学院人間環境学府 : 博士後期課程

<https://doi.org/10.15017/1932052>

出版情報 : 教育経営学研究紀要. 20, pp.97-109, 2018-03-29. The Laboratory of Educational Administration, Educational Law Graduate School of Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



避難訓練計画からみる学校安全に関する分析

岩永 裕次
(九州大学／大学院生)

木村 栞太
(九州大学／大学院生)

- I はじめに
- II 避難訓練計画の検証
- III 考察
- IV まとめ

I はじめに

1. 問題の所在と目的

平成 28 年 4 月 14 日（木）21 時 26 分、熊本地方を震源とする M6.5、震度 7 の地震が発生した。翌々日の 16 日（土）1 時 16 分には、M7.3、震度 7 の強い地震が発生し、校舎の窓ガラスが割れて飛散したり、耐震補強のワイヤーのジョイントが切れたりする等、震源地近郊の学校の被災状況は深刻であった。熊本地震を通じて教育行政ならびに学校は、改めて「学校安全」について問われることとなった。その「学校安全」について、文部科学省は、学校保健安全法に基づき、平成 24 年 4 月、「学校安全の推進に関する計画」を策定している。この中で、「平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の際には、徹底した津波や防災に関する教育により、想定された避難場所が危険であることを児童生徒自らが判断し、更に安全な場所に自主的に避難して津波による危険を回避した学校などもあり、学校安全に係る取組を推進する重要性がより一層認識されるようになったところである」としている。学校が行う避難訓練は、地震、火災、津波を想定した訓練が中心に計画されており、これらの内容を含んだ避難訓練を実施することは極めて重要である。また、上述の通り、自然災害や有事における不測の事態に備え、学校は、危機を回避することはできなくても減災に向けた避難訓練計画を見直すことが求められている。しかしながら、そうした避難訓練の実施時期や回数について、その実態が問われる機会はずしも制度のなかで組み込まれているわけではないように思われる。

そこで本稿では、まず、現状の避難訓練計画の分析・検証を試みる。具体的には、大分県内の公

立小学校（114 校）⁽¹⁾に焦点を当て、平成 28 年と平成 29 年の避難訓練年間計画などに記載されている内容や実施回数、実施月を確認する。甚大な被害をもたらした平成 28 年 4 月の熊本地震を境に、どのように計画が変更されているか表を用いて整理する。その結果から、避難訓練の回数や実施月、特に年度の初旬に着目し、避難訓練計画からみる学校の「リスク」についての検討を行う。

2. 避難訓練について（法令）

なぜ、そもそも、学校で避難訓練を実施するのか。学校保健安全法第 3 章「学校安全」（学校安全に関する学校の設置者の責務）第 26 条には、「学校の設置者は、児童生徒等の安全確保を図るため、その設置する学校において、事故、加害行為、災害等（以下この条及び第 29 条第 3 項において「事故等」という。）により児童生徒等に危険又は危害が現に生じた場合（同条第一項及び第 2 項において「危険等発生時」という。）において適切に対処することができるよう、当該学校の施設及び設備並びに管理運営体制の整備充実その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。」とある。さらに同章第 29 条 2 項では、「校長は、危険等発生時対処要領の職員に対する周知、訓練の実施その他の危険等発生時において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。」とある。校長が主導して、避難訓練を実施する必要性を明記している。

別法の消防法第 8 条第 1 項 1 では、「学校、病院、工場、事業場、興行場、百貨店（中略）、政令で定める資格を有する者のうちから防火管理者を定め、政令で定めるところにより、当該防火対象物について消防計画の作成、当該消防計画に基づく消火、通報及び避難の訓練の実施、（中略）その

他防火管理上必要な業務を行わせなければならない」としている。また、消防法施行令第4条2では、「防火管理者は、前項の消防計画に基づいて、当該防火対象物について消火、通報及び避難の訓練の実施、(中略)その他防火管理上必要な業務を行わなければならない」としている。

両法からは、事故、加害行為、災害等において児童生徒等に危険又は危害が現に生じた場合、職員が適切に対処して必要な措置を講ずるために訓練を実施しなければならないと解される。学校における避難訓練の実施日時、方法、回数、内容等については、各学校が作成する避難訓練計画に委ねられているのが現状である。

3. 「リスク」の意味

「リスク」について小松(2012)は、以下のよう

一般に、経済学や心理学における意思決定論においては、リスクは、損害が生ずる確率と定義される。またそれとは異なり、損害を生じる発生源の事象そのものがリスクと言われたり、あるいは、損失の大きさと損失の発生確率の積として定義されることもある(26頁)。

リスクを確率と損害の重大性との積として定義する場合、たとえ発生確率が低くとも損害が重大であることが見込まればリスクは高いものとして算定されることになる。逆に損害が微小なものであっても発生率が高ければリスクは大きなものとして算定されることになる(26頁)。

以上からは、「リスク」が確率論と損害の程度を交えて論じられていることがわかる。上述のように「リスク」の定義は、一つではなく多義的な意味が含まれると解される。

地震、火災、津波といった災害は、不確定なものであり、決まって生じる災害ではない。しかし、災害がひとたび発生すれば、学校は損害の大小に限らず施設や子どもたちに少なからず影響を与えてしまう。よって、本稿ではこうした「危険」を「リスク」として捉える。また、「リスク」は、避難訓練を計画する段階から想定できると考える。

現在において、未来の損害の可能性を示唆することは、学校が被る損害を低減することができると考えている。

4. 年度の初旬(4・5月)に避難訓練を計画する意味

新年度を迎える4月に、学校は新たな組織体制を構築しなければならない。特に、人事異動によって赴任した教員や新規採用教員は、学校規模や校舎の配置、児童の実態、学校行事等、業務に関わる全てを早急に把握・確認する必要がある。また、4月当初は、校務分掌も改編されるため、避難訓練における教職員の配置や役割分担も変更されるだろう。また、4月当初は児童生徒の進級に伴い、教室も変わる。これにより、昨年度までの避難経路も変わるため、児童生徒が自主的に迅速な避難行動をとることも難しいと考えられる。こうしたことを想定して、教員は、始業式が始まる前に事前に準備しなければ、仮に自然災害などの有事において、危険な状況に陥れば、学校の組織的対応は後手に回ってしまう恐れがある。小学校新1年生の場合、集団行動をとることや担任の指示が通らないことも十分に想定されるため、的確な対応が担任教員に求められる。

では、5月はどうだろうか。5月中旬もしくは下旬に多くの学校は、運動会を計画することが多い。運動会に向けて5月当初から、競技等の練習も始まる。さらに、新1年生を迎え、歓迎遠足を実施する学校もあるだろう。大型連休とも重なり、思うように教育課程が進まない時期でもある。5月も学校行事等が多く繁忙期となる。

しかし、仮に、4・5月に避難訓練を計画せず、熊本地震の規模が日中に発生すれば、学校に甚大な損害が及ぶと予想される。

つまり、繁忙期である新年度の初旬において、いかに避難訓練を実施するかということは減災の観点からは非常に重要なポイントであると考えられる。先述の通り、少なからず学校への損害を最小限で食い止めることができるため、学校の「リスク」回避につながるこの考えからである。

4・5月に行われる避難訓練は、主に地震、火災を想定した対応訓練を行うことが多い。その理由として、以下の項目を教職員間で確認できる訓練であると考えられる。

①避難経路の確認、②避難誘導方法の確認、③避難場所の確認、④避難誘導時間の把握、⑤避難時における各係（①本部②連絡③誘導④消火：初期消火、立ち入り禁止措置及び警戒、⑤救護等）の役割の確認、⑥教職員・児童生徒等を対象とした非常事態における即応力の把握である。

他にも、理由が挙げられるだろうが、①～⑥の内容を年度の初旬（4・5月）に確認することは、学校現場の教職員にとっても重要であり、少なからず学校保健安全法や消防法といった法の要請に応えるものでもあると解される。

II 避難訓練計画の検証

平成 28、29 年度における大分県内の公立小学校の避難訓練計画について、学校要覧ならびに学校のウェブサイトに掲載されている情報を収集し、その結果を表にして集計した（全データの集計結果は資料として本論の末尾に掲載している）。調査対象校は、熊本県に隣接している大分県内の市町村と一部の地域である。熊本県に隣接した市町村を選択した理由として、熊本地震の影響を少なからず受けて、何らかの措置を講じることが想定されたからである。

本調査に当たっては、地震、火災、津波、水害、防災（Jアラート訓練を含む）、不審者対応訓練を避難訓練計画の調査対象とする。また、訓練内容を明記していない学校もあるが、それは何らかの避難訓練と認めて回数に含める。本調査は、平成 30 年 1 月上旬まで学校のウェブサイト（年間・月

の行事予定）や学校要覧に掲載されている情報を収集したものであるから、常に最新情報が更新されている訳ではない。また、学校によっては、全ての情報が未掲載であったり、各月で飛び飛びに未掲載であったりしていたため、情報が正確だとは言いがたい面がある。しかし、概ね大分県内の小学校における避難訓練計画の概観は把握できると考える。

表 2-1 に、平成 28 年度から平成 29 年度における 4 月と 5 月への避難訓練計画の変更状況を整理した。その理由として、調査対象校が、熊本地震を境に避難訓練計画を変更したのかを分析するためである。各学校の行事予定表から避難訓練計画を抽出したが、中には行事予定表が未掲載の学校も多くあったため、変更状況が分からない学校は不明として数え上げている。

調査結果から読み取れる事実は、主に三点である。

第一に、最も 1 学期の避難訓練回数が多いこと。中でも 6 月に実施する学校が多いこと。各学期に 1 回、もしくは年 2～3 回程度、避難訓練を計画する学校が多いこと。

第二に、前年度と同月に、同内容の避難訓練を実施する学校があること。

第三に、J アラート訓練を実施し始めている学校がある（11 月実施）こと。

また表 2-1 から読み取れる事実は、4・5 月に避難訓練計画を変更する学校が 114 校中（不明校も含め）6 校と少ないこと。

以上の結果を、以下に「リスク」の観点から考察する。

表 2-1 平成 28-29 年度における 4・5 月への避難訓練計画の変更状況

変更有	変更無	不明
6 校	61 校	47 校

※不審者、Jアラート訓練については、校舎内外の避難経路等を確認する訓練として想定されていないため、本論では数え上げ（変更有）の対象とはしていない。

III 考察

大分県内の小学校 114 校の避難訓練計画を調査した結果、4・5 月に避難訓練を計画した学校は 6

校、全体（不明校も含め）の 5.26% 程である。平成 28 年 4 月に熊本地震が発生しているにも関わらず、必ずしも多くの学校は計画を変更した訳ではなかったようだ。結果として、多くの学校は、

6月に避難訓練を計画する割合が高く、2年連続で6月に同内容の避難訓練を実施する学校も多い。

避難訓練を計画することについて、調査した事実を基に、どのような解釈をすべきだろうか。この解釈は大きく分けて二つの見方に分けて考えてみた。

第一に、学校規模に関わらず、「年度の初旬（4・5月）に避難訓練を計画すること自体が難しい」とする考え方である。主要な学校行事が過度に4月に集中しており、その対応に追われているのではないだろうか。一部の地域によって相違があるかもしれないが、4月は、入学式、発育測定、全国学力・学習状況調査、県独自の学力調査（大分県内）、家庭訪問等が予定されていると考えられる。中でも、近年、全国学力・学習状況調査の実施に伴い、全国的に県や政令市等の自治体は、学力向上策に係る予算をこれまで以上に確保して、取組を推進している。これは、学校現場に少なからず影響があると考えられる。

今回、調査した大分県内では、平成25年度から4月末に県独自の学力定着状況調査が小学校5年生と中学2年生を対象に行われている。平成26年度から大分県教育委員会のHP上で、成果を上げた学校名の公表基準等と成果を上げた学校名一覧が公開されている。このような国や県の学力向上策が、新年度の4月に重点的に行われている現状があり、この時期に行う学力向上策は、他の行事と重なり合うため、学校にとって少なからぬ負担となっているのではないだろうか。

「年度の初旬（4・5月）に避難訓練を計画すること自体が難しい」とする考えからは、学校行事の優先度合と生じうる学校の損害が同じ土壌で比較検討されたうえで、決定・選択されるべきだと言えよう。

第二の見方は、「年度の初旬（4・5月）に避難訓練を計画しない」とする考えである。前述の見方とは異なり、そもそも4・5月に計画自体を考えていない学校が少なからずあるという事実である。この考えは、避難訓練計画を立てる段階で、前年度と同様の月に、同様の内容で計画を立てる傾向があるように思われる。本調査でもその傾向がみられた学校がある。

では、なぜこのような傾向がみられるのか。その理由はいくつか挙げられるが、2点について指

摘する。

第一に、地域行事との関連性についてである。避難訓練の内容によっては、地域とともに実施する訓練も珍しくない。例えば、地震・津波対応訓練であれば、高台に地域の方と共に避難する学校もある。こうした訓練の場合、学校独自で日程を決めることは難しい。また、地域側も地域行事との関連もあるため、前年と同様の日程で計画を希望することが多いだろう。とりわけ地域との関係は、震災直後の初期対応や長期的な避難所運営においても綿密な連携が必要と報告されている。地域との関係によって、有事の際に学校対応が迅速にできると考えれば、敢えて避難訓練計画を変更するといった動きに繋がりにくいと考えられる。

しかし、地域との関係性故に、地域側に学校の避難訓練計画を合わせることは、逆に「リスク」を高めることにもなると考えられる。年度の初旬（4・5月）に地震が発生した場合を考えれば、損害を減らすために、早い段階で避難訓練を計画すべきではないだろうか。学校が主体となり実施時期を含め、避難訓練が計画される必要があるように思われる。

第二に、他行事への影響についてである。避難訓練の実施は、全校の児童生徒を対象としているため、各学年の教育課程や行事にも影響を及ぼす。そのため、予定の変更の不都合が生じる場合は、避難訓練計画を変更せずに、昨年同様の計画で実施することになる。変更しないことで、学校の負担を増やさないとする考えである。

しかし、近年の大規模な地震発生や甚大な被害状況、教職員による早急な判断・対応等に鑑みれば、やはり年度の初旬（4・5月）に避難訓練を計画することの意義深さは否定できないと考える。

IV まとめ

本稿では、大分県内の公立学校（114校）を対象に、平成28年度と29年度の避難訓練計画の分析・検証を試みた。その中で、新年度の4月に避難訓練を実施する学校が114校中6校と少ないことに着目し、避難訓練計画からみる学校の「リスク」について考察を行った。

本稿が指摘した点は主に以下の二点に集約され

る。第一に、「年度の初旬（4・5月）に避難訓練を計画すること自体が難しい」とする考えについてである。学校が最も忙しいとされる4月に、国や県における学力向上策も実施される等、学校への負担が大きくなることは、有事における減災の観点からは「リスク」を増すことにつながるため、学校行事の優先順位を多角的に検討することの必要性を指摘している。

第二に、「年度の初旬（4・5月）に避難訓練を計画しない」とする考えである。前年度と同月に同内容の避難訓練を計画している実態から、地域行事との関連性や他行事への影響について言及した。学校が主体となり、避難訓練計画を立てることが「リスク」を低減させるうえで重要となる点を指摘した。

以上、新年度の4・5月に避難訓練を計画することの重要性についてこれまで検討してきた。学校は、将来起こりうる「リスク」についてその全てを回避することはできないにしても、生じうる損害を低減すること等の余地が残されているように思われる。

最後に、今後の研究課題について述べておく。本稿では、大分県内の公立小学校（114校）を対象に調査したが、今後、更に内実に迫るためにも、同県内の中学校や熊本県内、特に被災した地域における避難訓練計画の実態を追調査するとことが求められる。また、避難訓練計画の情報が未掲載の学校が多々あるため、学校行事予定が織り込まれている学校要覧があればHPで1校ずつ確認するよりも時間的に調査は短縮される。

また、調査資料に限界があった点である。平成28年度から平成29年度における4月と5月への避難訓練計画の変更状況を表に整理したが、常に最新情報が更新されている訳ではなく、学校によっては、全ての情報が未掲載であったり、年度毎や月毎で飛び飛びに未掲載であったりしたため、調査者が変更状況を把握する困難があった。

4月に避難訓練を計画できないことについて、要覧やウェブサイト以外の資料から詳細に状況を分析し、検討していく必要がある。

【注】

(1)大分県内の9市町村にある公立小学校を抽出。

【参考文献】

- ・ アルミン・ナセヒ、ゲオルク・クニール（2007）『ルーマン 社会システム理論』新泉社。
- ・ 石戸教嗣（2007）『リスクとしての教育』世界思想社。
- ・ 内田良（2010）「学校事故の『リスク』分析—実在と認知の乖離に注目して—」『教育社会学研究』201-221頁。
- ・ 熊本市教育センター（2017）「熊本地震に学ぶ管理職の危機対応力—校長・園長・教頭の状況判断と決断—」『平成28年度新任管理職研修テキスト』第3集。
- ・ クリスティアン・ボルフ著、庄司信訳（2014）『ニクラス・ルーマン入門 社会システム理論とは何か』新泉社。
- ・ 小松丈晃（2012）『リスク論のルーマン』頸草書房。
- ・ 建部謙治、鈴木賢一（2006）「火災知識・行動判断の避難経路選択への影響—学校における児童の火災避難行動に関する基礎的研究の研究その3—」『日本建築学会計画論文集』第556号、177-181頁。
- ・ 建部謙治、遠藤隆之（1999）「1997年鹿児島県北西部地震における学校の対応状況」『愛知工業大学総合技術研究所 研究報告書』創刊号、149-154頁。
- ・ 内藤稔（2016）「熊本地震の状況と対応に学ぶ—現地からの報告—」一般財団法人教育調査研究所『教育展望』第62巻、第8号。
- ・ Niklas Luhman 著・小松丈晃訳（2016）『リスクの社会学』新泉社。
- ・ 土方透、アルミン・ナセヒ編著（2002）『リスク 制御のパラドクス』新泉社。
- ・ 文部科学省（2013）「学校防災のための参考資料 『生きる力』を育む防災教育の展開」（<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/saigai03.pdf>、最終アクセス日：2018年2月4日）。

- ・ 文部科学省 (2010) 「学校安全参考資料『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」
(<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/seikatsu03.pdf>、最終アクセス日：2018年2月4日)。
- ・ 吉川肇子 (1997) 『リスク・コミュニケーション』 福村出版株式会社。

資料 大分県内の公立小学校における避難訓練の実施状況

	学校名 (大分県)	年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (確認数)	備考
1	中津市立南部小	H28				不審者				不審者				2	
		H29												0	
2	北部小	H28			不審者					地震・火災		地震・津波		3	
		H29			不審者									1	
3	豊田小	H28											避難訓練	1	
		H29												0	
4	小楠小	H28											避難訓練	1	
		H29			不審者		地震		避難訓練 2回					4	H29より詳細に掲載
5	鶴居小	H28			避難訓練									1	
		H29			避難訓練									1	
6	大幡小	H28												0	
		H29												0	
7	如水小	H28											避難訓練	1	年間計画はあるものの避難訓練が計画されていない
		H29												0	年間計画はあるものの避難訓練が計画されていない
8	三俣小	H28												0	
		H29												0	
9	和田小	H28			不審者				津波				避難訓練	3	
		H29												0	
10	今津小	H28						不審者						1	
		H29			地震		不審者					火災		3	
11	沖代小	H28		火災									避難訓練	2	
		H29												0	Jアラート：臨時休校について
12	秣小	H28								避難訓練				1	
		H29							Jアラート					1	
13	深水小	H28											避難訓練	1	

		H29		避難訓練			避難訓練						2	
14	山口小	H28			防災				不審者				2	
		H29			防災								1	
15	真坂小	H28											0	
		H29						地震、Jアラート					2	
16	樋田小	H28											0	
		H29											0	
17	上津小	H28						地震					1	
		H29	地震・火災										1	
18	城井小	H28											0	
		H29											0	
19	下郷小	H28			災害訓練		避難訓練	地震	火災				4	
		H29											0	
20	津民小	H28			不審者								1	
		H29		不審者									1	
21	山移小	H28			避難訓練			避難訓練			避難訓練		3	
		H29						避難訓練					1	
22	三郷小	H28			避難訓練				避難訓練		避難訓練		3	
		H29			水害			避難訓練					2	
23	豊後高田市立高田小	H28											未掲載	
		H29											0	
24	桂陽小	H28					避難訓練				不審者		2	
		H29						地震・火災					1	
25	河内小	H28						地震・津波			火災		2	
		H29		避難訓練		不審者		避難訓練					3	
26	田染小	H28							避難訓練				1	
		H29											0	
27	都甲小	H28											0	
		H29											0	
28	草地小	H28							避難訓練				1	
		H29		避難訓練									1	
29	呉崎小	H28		避難訓練			地震						2	
		H29		避難訓練			避難訓練						2	
30	真玉小	H28				不審者				防災			2	

		H29		防災									1	
3 1	臼野小	H28								不審者			1	
		H29			避難訓練								1	
3 2	三浦小	H28											1	
		H29											0	
3 3	香々地小	H28			津波					避難訓練	不審者		3	
		H29			避難訓練		津波						2	
3 4	宇佐市立天津小	H28									避難訓練		1	
		H29				避難訓練				避難訓練			3	
3 5	長峰小	H28			不審者					地震・火事	地震津波		3	
		H29						不審者					1	
3 6	横山小	H28								避難訓練			1	
		H29								避難訓練			1	
3 7	糸口小	H28						避難訓練			火災	地震・津波	3	
		H29							総合避難				1	
3 8	高家小	H28									火災		1	
		H29						地震					1	
3 9	八幡小	H28			地震								1	
		H29			不審者				避難訓練				2	
4 0	四日市南小	H28									地震火災	地震・津波	2	
		H29			不審者								1	
4 1	四日市北小	H28			地震						火災		2	
		H29						火災					1	
4 2	柳ヶ浦小	H28						避難訓練				避難訓練	2	
		H29											0	
4 3	長洲小	H28			不審者								1	
		H29			不審者								1	
4 4	和間小	H28			避難訓練								1	
		H29											未掲載	
4 5	封戸小	H28											未掲載	
		H29											0	
4 6	北馬城小	H28											0	
		H29											未掲載	

47	宇佐小	H28			避難訓練		避難訓練				避難訓練		3	
		H29			避難訓練								1	
48	西馬城小	H28			不審者			避難訓練					2	
		H29			不審者					避難訓練			1	H29 要覧では 5・1月
49	駅館小	H28			不審者		地震・ 火事・ 津波						2	
		H29					地震・ 火事・ 津波						1	
50	豊川小	H28			不審者					火災			2	
		H29			不審者								1	
51	院内北部小	H28			避難訓練			地震・ 不審者					2	
		H29			地震								1	
52	院内中部小	H28											未掲載	
		H29											未掲載	
53	院内中部小上院内分校	H28											未掲載	
		H29											未掲載	
54	南院内小	H28											0	
		H29											未掲載	
55	深見小	H28			地震・ 火災			避難訓練					2	
		H29			地震・ 火災			避難訓練					2	H29 要覧では 6・10月
56	安心院小	H28			避難訓練								1	
		H29			避難訓練								1	
57	津房小	H28			地震				不審者				2	大雨が降る中、地震が起 こり、学校裏山が崩れ被害 が出そうという想定
		H29			地震				地震				1	
58	佐田小	H28								防災訓練				大地震、その 後に裏山の崩 壊の恐れの特 定で、公民館 への避難訓
		H29												
59	姫島村 姫島小	H28			避難訓練				避難訓練		避難訓練		3	
		H29			地震・ 津波			地震		火災			3	
60	国東市立 竹田津小	H28			地震						避難訓練		2	
		H29			地震・ 津波								1	
61	伊美小	H28			避難訓練					避難訓練	防災訓練		3	
		H29			不審者								1	

6 2	熊毛小	H28											未掲載	
		H29					不審者						1	
6 3	富来小	H28											0	
		H29					避難訓練						1	
6 4	国東小	H28				地震							1	
		H29						防犯					1	
6 5	小原小	H28		地震							避難訓練		2	
		H29			避難訓練								1	
6 6	旭日小	H28							避難訓練		不審者		2	
		H29							火災				1	
6 7	武蔵東小	H28			避難訓練					火災			2	
		H29											0	
6 8	武蔵西小	H28									津波		1	
		H29			不審者		避難訓練			火災			3	
6 9	安岐中央小	H28		避難訓練			防災			火災		避難訓練	4	
		H29								火災			2	
7 0	安岐小	H28								避難訓練			1	
		H29				避難訓練							1	
7 1	九重町立東飯田小	H28			避難訓練			地震			避難訓練		3	
		H29			避難訓練		避難訓練				避難訓練		3	
7 2	野上小	H28											0	
		H29	地震・火災										1	
7 3	野矢小	H28											0	
		H29											0	
7 4	飯田小	H28											0	
		H29			避難訓練								1	
7 5	南山田小	H28											0	
		H29						Ｊアラート	地震				2	
7 6	淮園小	H28											0	
		H29											0	
7 7	玖珠町立森中央小	H28			地震				地震、火災				2	
		H29			地震				火災				2	
7 8	日出生小	H28			避難訓練						避難訓練		3	
		H29			避難訓練			不審者				地震	3	

79	日出生小 小野原分校	H28												未掲載
		H29												未掲載
80	塚脇小	H28						避難訓練						1
		H29		避難訓練				不審者						2
81	小田小	H28												0
		H29			防犯									1
82	北山田小	H28							不審者					1
		H29												0
83	八幡小	H28								避難訓練				1
		H29								避難訓練				1
84	古後小	H28												0
		H29							避難訓練					1
85	日田市立 威宣小	H28												未掲載
		H29			避難訓練				避難訓練					2
86	桂林小	H28												未掲載
		H29			災害									1
87	日隈小	H28												0
		H29												0
88	若宮小	H28							不審者					1
		H29			水害				不審者		火災			3
89	三芳小	H28												0
		H29									地震			1
90	高瀬小	H28												0
		H29							引き渡し訓練					1
91	光岡小	H28			水害						地震			2
		H29			水害						地震			2
92	朝日小	H28												0
		H29			地震									1
93	三和小	H28			水害						不審者			2
		H29			水害						地震 火災			2
94	有田小	H28												0
		H29									地震			1
95	小野小	H28												未掲載
		H29												未掲載

96	石井小	H28											未掲載
		H29			地震・火災					地震			2
97	大明小	H28											未掲載
		H29		地震						避難訓練			2
98	いまつ小	H28											未掲載
		H29											未掲載
99	東溪小	H28											0
		H29		水害		引き渡し訓練				避難訓練			3
100	津江小	H28						地震	火災				2
		H29		地震									1
101	前津江小	H28											未掲載
		H29							地震				1
102	大山小	H28											未掲載
		H29				避難訓練							1
103	竹田市立竹田小	H28											0
		H29			不審者				火災	地震			3
104	豊岡小	H28											未掲載
		H29							避難訓練				1
105	南部小	H28						火災					1
		H29		不審者	避難訓練				火災	地震			4
106	祖峰小	H28											未掲載
		H29		避難訓練			避難訓練		避難訓練				3
107	菅生小	H28											未掲載
		H29								地震			1
108	宮城台小	H28											未掲載
		H29		避難訓練					避難訓練	避難訓練			3
109	城原小	H28		避難訓練					火災		避難訓練		3
		H29											0
110	萩小	H28											未掲載
		H29											0
111	白丹小	H28						避難訓練		避難訓練			2
		H29		不審者						火災			2
112	久住小	H28		避難訓練									1
		H29		避難訓練									1

1 1 3	都野小	H28	不審者					地震		避難訓練			3	
		H29	不審者											1
1 1 4	直入小	H28		避難訓練			不審者	火災					3	
		H29	不審者		地震								2	
H28・H29 月別合计数			2	26	66	12	15	19	35	32	37	15	5	
H28・H29 学期別合计数			106			101			57					

※斜線は未掲載 ※H. 28、29年で同月実施の計画は塗りつぶしている